

予算特別委員会審査から

神戸市は「行財政改革方針2025」として2025年末までに職員数750人の削減するとしています。しかし今現場では人手不足が深刻になり、特に保育や福祉の現場では悲鳴が上がっています。朝倉議員は、震災から30年の教訓を活かし、神戸市が自治体としての役割を果たせるように、職員削減はやめて必要なところに職員を配置すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：(震災以降)コスト優先で市民に身近な政策に関わる業務量と職員を減らしてきたことを反省すべきだ。こども家庭局は会計年度職員が正規職員数を上回っているが、適切に機能できているのか。

島組織編成担当部長：保育所に会計年度職員が多いからだ。

朝倉議員：会計年度職員のほとんどが

2月27日

市民の命や安全を守る 仕事に予算をつかうべき 建設局審査で西ただす議員



質問する西ただす議員

今年1月、埼玉県八潮市で下水道管の破損による重大な道路陥没事故が発生しました。同様の事故を防ぐためにも、道路などインフラの老朽化対策や災害の激甚化への予算の増額は急務です。西議員は、大阪湾岸道路には資材高騰で1740億円も予算を増やししながら、市民の命や安全への対策を置き去りにしている姿勢を質しました。

行財政局

- 質疑項目
1. 震災の教訓を活かした市職員の配置について
 2. 市民の暮らしを応援する予算への転換について

選挙管理委員会

3. 投票所の増設と改善について

女性だ。職員体制を見直すべきだ。

島部長：状況に応じて補助的な業務を担わせることが適当な場合に会計年度職員を登用している。

朝倉議員：会計年度職員にもフルタイムで働く女性が多い。決して補助的ではない。女性の正規職員を増やして仕事と育児が両立でき、女性が働きやすい職場にすべきだ。

坂井副局長：会計年度職員は任期や業務内容が違う。男性も含め仕事と家庭が両立できる職場づくりに取り組んでいる。

朝倉議員：市民の暮らしを支えるべき

2月27日

市民の暮らしを支えるため 正規職員の増員を 行財政局審査で朝倉えつ子議員



質問する朝倉えつ子議員

職員は経験の積めない会計年度ではなく、正規職員を増やして体制を強化すべきだ。

- 質疑項目
1. 下水管の整備など安全を優先した予算について
 2. 大阪湾岸道路工事中の中止について
 3. 王子動物園の再整備について

答弁ダイジェスト

小松局長：局として、市民生活に密着した道路や下水道などのインフラの点検や維持管理で施設の長寿命化を図っている。一方で見違えるような街として次世代に引き継いでいくというミッションも持っている。守りと攻めのバランスを取りながら、市民生活に支障のないように取り組んでいる。

西議員：経年で見ると、道路の修繕な

ど市民の命や安全にかかわる予算があまり増えていない。汚水管きよの更新は今の倍くらいのスピードがなければ目標が達成できない。予算を増やすことが必要だ。

樋野下水道部長：工事費が高騰し、予定通りの実施が難しくなっている。調査点検をしっかりおこない、悪いところは直していく。計画的に改築する事業は、改めて優先順位をつけて取り組んでいきたい。

西議員：工事費の高騰を理由に命や安全にかかわるところが後回しにされるのは許されない。調査は必要だが、必要な更新をしていく姿勢が必要だ。命にかかわるところを軽視していると感じる答弁だ。

●「神戸市下水道事業経営計画(2020年～2029年)」の進捗状況●

	目標	累計	進捗率	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
汚水管きよの改築延長	450km	140.1km	31.1%	36.1km	42.8km	35.7km	25.5km
優先的に実施すべき 管きよの耐震化	汚水管きよ	38km	25.1km	66.1%	8.2km	6.0km	4.5km
	雨水管きよ	45箇所	5箇所	11.1%	1箇所	0箇所	2箇所

重い教育費の負担は社会的な課題で、長年高等教育の無償を求める声が上がりが続けてきました。その運動を受けて今国会では、高校の学費無償化が議論されています。高校の無償化が実施されれば、神戸高专では3年生までが無償となります。大かわら議員は、この間の物価高騰で学生の状況がさらに厳しくなっていることを指摘し、神戸高专と同一法人の市立外国語大学の学費無償にも踏み切るべきと求めました。

答弁ダイジェスト

中野大学連携推進担当部長：市では食支援事業をしている。学費無償は国で検討されるべきものだ。

2月28日

図書館司書の待遇を改善し、地域図書館は直営に戻せ 文化スポーツ局審査で赤田かつり議員



質問する赤田かつり議員

図書館は市民の知りたい調べたいという願いを保障する大切な役割があり、学習権を保障する機関です。図書館の仕事を具体的に担うのは、専門職である図書館司書です。司書は資料・情報を適切に選択できるよう利用者に協力、支援するなど役割を担っています。地域図書館で

議会での我が会派の追及によって神戸市は、コロナ禍の中で削減してきた保健師を100名増員し300名体制で様々な困難を乗り越えてきました。森本議員は、ふたたびコロナのような感染症が発生した場合の対応も考えるべきと指摘。現在300名の保健師がどういう考えのもとに様々な部門に配置されているのか、また今後も保健師の300名体制を維持することを改めて求めました。

答弁ダイジェスト

花田局長：いざ何かあったときには300名は集まれる体制は維持する。コロナ禍での経験ふまえ、しっかりと対応し

質疑項目

1. 大学無償化の実施について
2. 市民視点からの震災30年の総括について
3. マイナンバーカードの強制について
4. 大阪・関西万博推進事業について

大かわら議員：食支援だけでなく根本的なところに切り込むべきだ。なぜ学生に寄り添わないのか。奨学金返済支援制度が廃止されたら奨学金を返す学生の不利益にならないのか。

中野部長：認定された方が3年で18人程度だったので制度を廃止した。

大かわら議員：対象の枠が狭く、使える人が少なかったからだ。枠を広げて新しい奨学金返還事業をつくってはどうか。

中野部長：国の支援が充実している。

大かわら議員：充実していると言うが、64%もの学生が食費を削っているのが実態だ。優秀な学生が神戸で頑張っ

2月28日

学生に寄り添って市独自で新たな減免や無償化を 企画調整局審査で大かわら鈴子議員



質問する大かわら鈴子議員

いただけるように新たな減免や無償化に踏み切るべきだ。

1. 図書館の運営について
2. 神戸文化ホールの存続について
3. 神戸マラソンのコース変更の考え方について

質疑項目

は、職員の方が司書の資格の有無にかかわらず図書館を利用される方のために一生懸命働いておられます。赤田議員は、専門職として図書館の運営に重要な役割を果たすことができるよう、市内11か所の地域図書館に常勤の司書を確保するとともに、待遇の改善や賃金の引き上げを求めました。

答弁ダイジェスト

中山中央図書館長：(地域図書館の)指定管理者への要求水準には、スタッフの資質の確保を求めている。館長や館長補佐、窓口責任者や役職者は全員が司書資格を有する。常勤と非常勤を合わると

約91%が司書の資格を持っている。

赤田議員：常勤のうち非正規職員はどれくらいおられるのか。

中山館長：指定管理者は公表していない。

赤田議員：神戸市が労働実態もわからない状況だ。図書館司書の低賃金は全国的にも問題になっており、安定雇用で働きたいと国会要請もされている。地域図書館の運営を直営に戻し、司書が高い専門性と職責を果たせるようにすべきだ。

3月3日

体制を維持し、保健師が役割を果たせるよう取り組み 健康局審査で森本真議員



質問する森本真議員

質疑項目

1. コロナの経験を活かした保健所体制の強化について
2. 医療体制の充実について

ていきたい。

森本議員：保健師の増員で仕事はどう変化したのか。

花田局長：コロナ前から複雑多岐にわたる課題を抱えていた市民が多くいたが、十分に対応できなかった。保健師を増員したことで、児童虐待や精神保健に加え、これまで十分着手できなかった課題やコロナ関連の新たな健康2次被害対策などについてもアウトリーチできるようになった。

森本議員：保健師の果たすべき様々な役割が、コロナ感染症対応だけでなく、保健や福祉、子育てに関するいろんな分野にあることを痛感している。保健師がその役割を果たすことができるよう300人体制を維持して取り組むべきだ。